

みなみ

本年度の学校評価 教頭 井上 尚久

春寒の候、保護者並びに地域の皆さまにおかれましては、ますます、健勝のごとお喜び申し上げます。平素は本校教育の推進につきまして、格別のご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、本年度も残りすところあと一カ月ほどとなり、一年の締めくくりをする時期となっております。

本年度は「いじめ」を考えたうえで、愛をもって「気」を考えた行動する「スローガン」を掲げ、教育活動を展開してきました。例年の今時期には、今年度の教育活動を振り返り、次年度の取組を活かすべく「学校評価」を行い自己評価をしています。本年度も、11月初旬に生徒、保護者、教師対象の「学校評価アンケート」を実施するとともに、「日常の実践記録や生徒、教職員、保護者の感想、反省などから、本年度の成果と課題について分析し、改善策を協議し、来年度への取組の基盤づくりをしました。その内容を抜粋して報告させていただきます。



(1) 「主体的に取り組む授業の推進」について

全体的に授業において、主体的に参加できている。しかし、「発表を積極的に行っている」「先生に質問しやすい」といった項目では、2.8、3.0、割合が低い。これは発表する生徒に偏りがあつた

NO	項目(生徒)	A	B	C	D	平均点
1	授業において、発表を積極的に行っている	26.1	33.3	30.6	9.9	2.8
2	授業で積極的に先生に質問しやすい	33.3	37.8	24.3	4.5	3.0
3	家庭学習(自主学習)が習慣になっている	52.3	32.4	9.4	5.4	3.3
4	授業に参加することは楽しい	60.4	30.6	7.2	1.8	3.5
5	自ら進んで授業に取り組んでいる	21.6	28.8	36.9	12.6	2.6

項目(保護者)	A	B	C	D	平均点
1 基礎、基本的な学力の定着が図れている	11.1	49.5	24.2	9.1	2.6
2 ICTを積極的に活用した学習に取り組んでいる	13.3	35.7	26.5	7.1	2.6
3 お子さまは、家庭学習ができています	22.4	30.6	25.5	14.3	2.6
4 お子さまは、主体的に授業へ参加できている	29.7	43.6	12.9	7.9	3.5
5 お子さまは、家庭で読書している	7.8	10.7	19.4	50.5	1.2

項目(教職員)	A	B	C	D	平均点
1 個に応じた指導や支援ができている	56.3	37.5	6.3	0.0	3.5
2 教科等の指導にICTの効果的な活用を取り入れることができている	0.0	26.7	53.3	20.0	2.1
3 家庭学習の定着に向けて工夫している	13.3	66.7	13.3	6.7	2.9
4 わかる授業の工夫(のめりや振り返り、教材研究、発問の工夫、協同学習)に取り組んでいる	33.3	66.7	0.0	0.0	3.3
5 読書活動の充実に取り組んでいる	0.0	40.0	60.0	0.0	2.4

A:とても思う B:だいたい思う C:あまり思わない D:思わない
※平均点(4点満点中)

令和6年度 第10号

校訓

☆ 励みあう生徒
☆ 鍛えあう生徒
☆ 磨きあう生徒

り、発表する自信がなかつたりすることが考えられる。導入時に分かりやすい発問を入れたり、班で考える時間を設けたりしながら授業改善に取り組む。生徒が主体的に発言する授業づくりを推進していきたい。家庭学習について、生徒と保護者の意識差がある。生徒は、自主学習ノートの取り組みは家庭学習の習慣となつていくが、保護者も子どもたちの家庭学習の取り組みが足りないと感じている。今後は、生徒が主体的に家庭学習に取り組むこと、定着化が図れるような意識づけや工夫が必要である。

ICT機器の活用に関しては、保護者、教職員ともに評価が低く課題である。教科の特性にもよるが積極的に活用するためにも今後校内研修などを通して、ICT機器を有効活用した授業づくりの実践を推進していく。

読書活動について、今年度教員が低い。これに関し本校限らず市内中学生の傾向といえる。現在も、生徒の読書に対する意識の向上を図るため、P.A.研修部作成のPOP作品や図書委員会の図書環境づくりにより、本の魅力を発信しているが、新たな取組が必要である。読書の楽しさや大切さをどう伝えるかを考えていきたい。



(2) 「道徳、人権教育の推進」について

この項目については、全体的に高評価である。これは、本校の人權スローガンである「いじめのない学校」を考えたうえで、生徒保護者、教職員がともに意識し、「南家族」を大切にした生活ができてきていると考えられる。しかし、保護者においていじめや問題行動に

NO	項目(生徒)	A	B	C	D	平均点
1	「道徳」の授業では、友達の見解を受け入れようとしている	68.5	27.9	2.7	0.9	3.4
2	いつもどりの人のことを考え、「南家族」を意識した生活ができた	47.7	45.0	5.4	1.8	3.4
3	いじめをしない、させない、許さないことが実行できた	77.5	18.9	3.6	0.0	3.7

NO	項目(保護者)	A	B	C	D	平均点
1	道徳、人権教育は十分できている	29.9	57.7	4.1	5.2	3.2
2	お子さまの、人への思いやりの心は育っている	44.8	47.9	3.1	2.1	3.4
3	学校は、いじめや問題行動に対する指導を適切に行っている	29.6	43.9	5.1	7.1	3.0

NO	項目(教職員)	A	B	C	D	平均点
1	あらゆる場や機会を通じて道徳の価値や善性の精神を高めることができている	31.3	62.5	6.3	0.0	3.3
2	「いじめのない学校」を考えたうえで、意識して指導にあたっている	50.0	50.0	0.0	0.0	3.3
3	いじめの未然防止、早期発見、早期対応を実践している	25.0	68.8	0.0	6.3	3.1

A:とても思う B:だいたい思う C:あまり思わない D:思わない
※平均点(4点満点中)

に対する指導を適切に行っている。3.0、低い数値ではないがDの評価があるということも学校は真摯に受け止め、保護者に安心、信頼される学校づくりをめざし、今後も丁寧に生徒の支援を行っていきたい。

道徳の授業では、今年度、久田敏彦先生を招いて校内研修会を行った。来年度も引き続き、授業研究や研修会を行い、生徒一人ひとりが尊重される道徳教育、人権教育の充実を図っていく。

(3) 「運し、健康、食育、特別活動、部活動」について
給食は残さず食べようという委員会活動の取組により、生徒の意識は高い。しかし、朝の健康観察での点検で朝食を食べず、SNSの使用により寝不足になっている生徒もいるため、家庭と連携した支援が必要である。

体育祭や文化祭、学年行事などは、生徒が主体的に取り組む、どの学年も達成感や満足感を感じている。一生涯命に取り組む生徒の姿を見て、保護者からも高評価を得ている。しかし、教職員の意識に関しては、生徒会活動に対して伝統を意識しながらも活性化を図るという点で課題が残っている。今年度から一宮南学園がスタートし、様々な小中合同行事などを行った。今後さらに小中ペア学年で活動したり、ふるさと講座等も活用しながら進めていきたい。そのためにも、担当を中心に小中の教職員が連携しながら幅広い視点を持って、生徒会活動に取り組んでいきたい。

部活動については、練習時間の制限がある中で生徒たちは、目標を持って互いに励まし合いながら積極的に取り組んでいる生徒が多い。しかし、部活動で悩みを抱えている生徒もいる。保護者は、「部活動指導が適切に行われている」「部活動に積極的に参加している」といった項目でC・Dの評価をつける方もいる。少しでも保護者へ安心、信頼される活動を行えるように、細かな連携を取りながら、子どもたちの指導にあたりたい。

NO	項目(生徒)	A	B	C	D	平均点
1	給食は残さず食べるように努力している	82.0	13.5	3.6	0.9	3.8
2	学校行事や学年行事では、多くを学ぶことができた	83.8	14.4	0.9	0.9	3.8
3	部活動に積極的に参加することができた	76.3	18.4	1.3	3.9	3.2
4	清掃を熱心に行い取り組むことができた	48.6	45.0	5.4	0.9	3.4

NO	項目(保護者)	A	B	C	D	平均点
1	生徒は、学校行事(体育祭、文化祭)や学年行事において、まきまきとした姿勢で取り組んでいる	75.3	19.4	3.2	1.1	3.2
2	お子さまは、部活動に積極的に参加している	64.9	27.3	2.6	3.9	3.1
3	部活動指導は適切に行われている	47.4	35.9	7.7	3.8	3.5
4	生徒は、日常的に得る挨拶ができている	51.0	36.7	5.1	5.1	3.4

NO	項目(教職員)	A	B	C	D	平均点
1	学校行事、学年行事を学年、学級づくりにつなげる指導ができたか	50.0	43.8	0.0	6.3	3.4
2	指導方法や練習時間など、適切な部活動指導が実施できたか	38.5	38.5	23.1	0.0	3.1
3	生徒とともに生徒会活動の活性化に向けて取り組んでいる	14.3	71.4	14.3	0.0	3.0
4	給食をはじめ、望ましい教育指導ができたか	37.5	50.0	12.5	0.0	3.1

※学校評価の自己評価は、本校のホームページにも掲載しております。

その他に、「一宮南中学校が好きだ」「7.P 私たちの悩みや相談に親身になって支えてくれる先生がいる」3.3.P「一宮南中学校は、信頼できる学校である」3.4.Pと高評価であり、「南家族」として同じ方向を向いて互いに理解し合っているなど嬉しく思っています。しかし、まだC、D評価があることにも目を向け、今後、信頼される目標を学校であるように尽力を尽くしてまいります。

(4) 特別支援教育の充実について
通級教室を設置し、一人ひとりの居場所を大切にしたい支援をしていることが全体的に高評価になつてきている。生徒もお互いの個性を認め合い、思いやりを持った行動ができている。しかし、「悩みや相談に親身になって支えてくれる先生がいる」の項目で1割の生徒が不安を抱えている現状がある。安心して相談できる雰囲気作りや声かけを心がけたい。今後は、家庭と学級担任、特別支援コーディネーター、部活動顧問、養護教諭、スクールカウンセラー等が連携して、一人ひとりの個性を大切に、生徒に寄り添いながら心のバリアフリーの充実を推進していく。

NO	項目(生徒)	A	B	C	D	平均点
1	安心して生活できる場所がある	77.5	19.8	1.8	0.9	3.3
2	私たちの悩みや相談に親身になって支えてくれる先生がいる	45.0	44.1	9.9	0.9	3.3

NO	項目(保護者)	A	B	C	D	平均点
1	お子さまと教師のよい人間関係ができている	50.0	38.3	4.3	2.1	3.4
2	学校は保護者からの意見・要望に耳を傾け受け止める姿勢がある	44.7	39.4	5.3	3.2	3.4
3	学校は、保護者に寄り添った対応ができている	39.4	47.9	3.2	3.2	3.3

NO	項目(教職員)	A	B	C	D	平均点
1	生徒に寄り添った言葉かけができている	50.0	50.0	0.0	0.0	3.3
2	不登校等、支援が必要な生徒に対する対応が継続的に進められているか	75.0	25.0	0.0	0.0	3.4
3	生徒の変化等について保護者との連携を進めているか	31.3	62.5	0.0	6.3	3.3

防災学習を終えて

今日の防災学習を終えて思ったことは、たった十五秒間ぐらいの地震でビルが崩れたり、いろいろな所で火災が起ったりしていたことに衝撃を受けました。死者の数をみると六千人以上で、その七割が圧迫死だと知って、僕は家の家具を固定しようと思いましたが、自衛隊の方の話では、「自衛隊が動いているときは、人が困っているとき」ということがわかりました。改めて地震は怖いなと思いました。

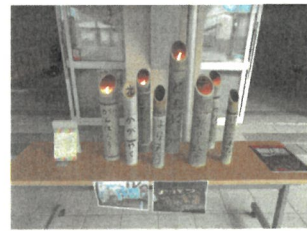


今日は地震について考えました。もし、自分の身に地震がきたらどうしようとか、助け合いが大事だなとか考えさせられました。地震はきてほしいわけではないけれど、自然のことだからわかりません。地震がきたときには自分たちで考えて、冷静に行動しなきゃなと思いました。南海トラフも地震が起る確率が八十%になっているので、自分たちも起るかもしれないなと思いました。地震が起ったときは自分のことだけ考えるのではなくて、他の人のことも考えて助けたいいけないなと思いました。自分たちにできることをもっと考えたいと思いました。

今日は朝起きたら震災のニュースをたくさん聞いて、母からも話を聞いたりしました。そして学校では、自衛隊の方に来ていただいているんなことを教えていただき、とても勉強になりました。私が一番大切だなと思ったのが、「自助、共助、公助」です。もし、地震が起きたときにすぐにはいえなくても、正しい行動ができるように事前に学ぶことができて良かったです。そして起こってしまう前の備えも大切だなと感じて、家に帰ったら見直してみようと思います。



教室で、阪神淡路大震災の映像を見ました。実際に、写真などで見たことがある場面では、あんなことが起きていて、どういう状況だったのかなどを詳しく知ることができました。また、自衛隊の方々の話も聞いて、災害時には自分も「自助・共助・公助」を意識して対応していくことが大切だと思いました。このことをしっかりと覚えておき、災害の時は行動できるようにしたいと思います。



校内百人一首大会

Table with 3 columns: Rank (優勝, 準優勝, 第三位, etc.), Student Name (岡田 愛結, 橋本 すぐ, etc.), and Class (八年一組, 七年二組, etc.).



表彰の記録

全国書画展覧会 書の部

- 金賞 猪尾 楓香
銀賞 中嶋 柚稀
波多野 駆

中学生の税についての作文

- 優秀賞 藤井香奈実
谷川 太河

県歯・口の健康に関する 図画・ポスターコンクール

- 奨励賞 堂田糸織理

人権作文コンテスト兵庫県大会

- ラジオ関西賞 森本 まお

宍粟市小中書き初め展

- 第七学年 「不言実行」
銀賞 橋本 すぐ
銅賞 岡西 隆聖
佳作 川戸 絢加
小林 杏寧
栗山 華英
中嶋 柚稀

第八学年 「新たな目標」

- 金賞 志水かのん
銀賞 岡田 愛結
銅賞 長野 果歩
波多野 駆
猪尾 楓香
橋本 陽矢

第九学年 「旅立ちの春」

- 銀賞 岡西優希菜
銅賞 藤井香奈実
佳作 勝浦 詩音
中山 太聖
庄 彩羽

明るい選挙啓発ポスターコンクール

- 入選 志水かのん

西播バレーボール大会

男子バレーボール部 第三位
兵庫県優勝大会出場(二月一日)
二回戦惜敗

西播柔道大会

男子一年の部 第三位
山梨 晴真

兵庫県中学校卓球一年生大会出場

(三月二十日)
姫路 咲桜

行事予定

- 三月
17日(月) 県内特色選抜・推薦入試
19日(水) PTA本部役員会・理事会
25日(火) 県立特別支援学校入試
七・八年生期末テスト(27日)
九年生期末テスト(26日)
26日(水) 九年生愛校作業
三月
3日(月) 九年生を送る会
10日(月) 第五十九回卒業証書授与式
12日(水) 公立高校一般入試
14日(金) 薬物乱用防止教室(七年)
25日(火) 三学期終業式・令和六年度修了式

リサイクル活動にご協力いただきありがとうございます

第二回園小中合同リサイクル活動(十二月八日実施)収益金について、園小中にて協議し、中学校には三三、二四〇円の収益がありました。収益金は、生徒会活動費として活用させていただきます。ありがとうございます。